

もろくずがわ
諸葛川における魚のへい死について(第4報・終報)

岩手河川国道事務所では、盛岡市上厨川地内の北上川水系雫石川の支川 諸葛川(1級河川・岩手県管理)の諸葛橋付近で小魚のへい死との情報を受け、平成26年2月24日(月)10時00分に災害対策支部【水質事故注意体制】を設置し、岩手県と共に下流河川の巡視及び水質検査等の監視を行ってきましたが、本日、魚病検査の結果、異常が見られなかったとの連絡があったこと、並びに水質分析結果や河川巡視結果に異常が見られないことから、本件に関する災害対策支部(水質事故)注意体制を解除します。

1. 事故概要

- ・発見日時:平成26年2月23日14:30頃
- ・発生場所:盛岡市上厨川地内 諸葛川の諸葛橋付近
- ・事象:魚のへい死
(小魚50匹程度のかたまりが点在し、全体では数百～千匹程度と思われる)

2. 事故対応状況

- ・2月23日 18時頃、県の盛岡広域振興局が魚の採取、採水を行い、分析中
- ・2月24日 9時50分岩手県からの報告
- ・2月24日 10時30分水質汚濁対策連絡協議会構成員に情報提供
- ・2月24日 魚の検査、水質分析を実施中。
へい死を確認した魚種は全てサケの幼魚。
23日に月が丘小学校で約2万尾のサケの幼魚を放流している。
- ・2月25日 岩手県が実施した水質分析の結果(分析機関:岩手県環境保健研究センター)、ヒ素や農薬などの有害物質39項目について全て検出下限値未満であり、水質に異常は見られない。
岩手河川国道事務所が諸葛川を巡視した結果、異常は見られない。
- ・2月26日 岩手県が実施した魚病検査の結果(分析機関:岩手県内水面水産技術センター)、異常は見られない。
岩手河川国道事務所が諸葛川を巡視した結果、異常は見られない。

よって、平成26年2月26日18時30分をもって災害対策支部(水質)注意体制を解除します。

《発表記者会:岩手県政記者クラブ》

<問い合わせ先>

北上川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局 事務局

国土交通省 岩手河川国道事務所

地域防災調整官 中川 博樹

河川管理課長 湯川 茂夫

岩手県環境生活部

環境保全課 担当課長 佐々木 健司

岩手県県土整備部

河川課 主任主査 佐藤 俊之

(岩手河川国道事務所 河川管理課直通TEL:019-624-3281)

(岩手県環境生活部 環境保全課直通TEL:019-629-5356)

(岩手県県土整備部 河川課直通 TEL:019-629-5902)